

学報



保健医療福祉の総合大学
聖隷クリストファー大学

2016.6 / Vol.

SEIREI CHRISTOPHER
UNIVERSITY
REPORT

47



CONTENTS

1 聖書のことば

2 スクールバス運行開始

3 特集 新入生セミナー

5 就職支援

7 クリストファーニュース

9 聖隷学園だより

11 私の教育・研究

12 新任教員の紹介

13 後援会から

14 学友会から

裏表紙 公開講座のご案内 / キャンパススケジュール



鷺^{わし}のように翼を張って

あなたは知らないのか、聞いたことはないのか。

主は、とこしえにいます神

地の果てに及ぶすべてのものの造り主。

う
倦むことなく、疲れることなく

その英知は究めがたい。

疲れた者に力を与え

勢いを失っている者に大きな力を与えられる。

若者も倦み、疲れ、勇士もつまずき倒れようが

主に望みをおく人は新たな力を得^え

鷺^{わし}のように翼を張^{のぼ}って上る。

走っても弱ることなく、歩いても疲れない

イザヤ書 40章28-31節

雑木林に囲まれたキャンパスに目を向ける。深緑の色が増す中、園児たちが遊び、近隣施設の方々が行き交う。ドクターヘリ^{ごうおん}の轟音に負けじとミソサザイが囀^{さえず}る。

希望に胸膨らませスタートした大学生活が、一気に加速し始める。ここで、ちょっとひと息ついてみては如何!

預言者イザヤは、イスラエルの民に対して語りかける。その言葉は、戦いに勝利するための特別な作戦ではない。もっと努力せよ、頑張れ、という叱咤激励でもない。イザヤは、ただ、神を語る。神にのみ寄り頼め、神はあなたと共にいる、と。

人が翻^{ひるがえ}って神に立ち返る時、思いも寄らない恵みが齎^{もたらさ}れる。それは「四方から苦しめられても行き詰まらず、途方に暮れても失望せず、^{しいた}虐げられても見捨てられず、打ち倒されても滅ぼされない(コリントの信徒への手紙二4章8-9節)」新しい恵みの力。神の宝がここにはある。

夕間暮れ、学生たちが談笑し、武道に励む若者らの気合が今日も響き渡る。



スクールバスの運行を開始しました

2016年4月から本学の大学生および専門学校生専用のスクールバスの運行を開始しました。授業のある月曜日～金曜日は3往復、授業のある土曜日は1往復、浜松駅からキャンパス間を運行しています。行事日は行事のスケジュールと利用者数に合わせて、時間と便数を調整し運行します。観光バスタイプの大型車両を2台導入し、全員が座って乗車できるような座席指定制としています。6月1日現在、91名の在学生在が利用しています。スクールバスの利用には、後援会の特別会員に申し込みが必要です。



▶ 運行ルート



※赤線がスクールバスルート、緑線が路線バスルートです。スクールバスルート上での途中乗降車も可能です。

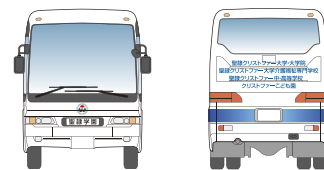
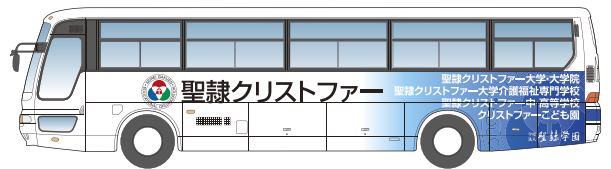
▶ 時刻表

雨の日の渋滞による遅延や実習衣等への着替えの時間を考慮した発車時刻を設定しています。

	発車時刻	到着予定時刻
浜松駅発	7:15	8:15
	7:25	8:25
	9:20	10:05
大学発	16:40	17:40
	18:20	19:20
	18:35	19:35

▶ バスデザイン

白地に青のグラデーション。聖隷学園のロゴマークが目印です!



《問い合わせ窓口》お申し込みやご質問は学生サービスセンターへご連絡ください。

場所:大学1号館1階学生プラザ内 電話 053-436-1125 メール service@seirei.ac.jp

新入生セミナー

FRESHMAN SEMINAR 2016

4.21



毎年4月に新入生を迎えるにあたり、初年次教育の一環として「新入生セミナー」を開催しています。有志の2～4年次生の上級生が中心となり、学生同士や教員との交流を通して新入生が大学生活に円滑に適應できるようにと企画・準備された様々なプログラムを催しました。

4月21日、たくさんの笑顔がみられた2016年度「新入生セミナー」の様子をご紹介します。

各学部の新入生にセミナーの感想や将来の希望などを聞きました。

- Q1. 新入生セミナーはいかがでしたか?
- Q2. 将来どのような専門職者になりたいですか?
- Q3. 学生生活の中で楽しみにしていることは何ですか?

看護学部

会場／雄踏総合体育館



やまもと なお
山本 菜央さん
看護学部
看護学科
1年次生

Q1 先輩方や友達と色々な話をすることができ、とても楽しかったです。また、種目ではチーム一丸となって取り組むことができ、とても良い思い出になりました。

Q2 一人一人の患者さんと向き合い、その人にとって一番よい看護を提供できるように看護師になりたいです。また、そばに寄り添い不安を少しでも減らせるようにしたいです。

Q3 多くの人と出会い、関わっていき、人とのつながりを広げていくことです。また、自分の理想とする看護師に近づけるように、夢に向かって頑張りたいです。

2015年度 卒業生・修了生の就職状況

(2016年5月現在)

2015年度卒業生の就職率※は、99.7%です。看護学部の就職は、看護師が136名、保健師が7名、養護教諭が1名でした。進学者の内10名が本学助産学専攻科への進学です。社会福祉学科では、浜松市に採用された精神保健福祉士をはじめ4名が精神保健福祉士として就職し、8名が医療ソーシャルワーカーとして就職しました。こども教育福祉学科は、21名が保育教諭・幼稚園教諭・保育士になりました。

就職先の詳細については、大学ホームページに掲載しています。

		卒業者数	進学者数	就職希望者数	就職者数	内定率
看護学部		156名	11名	144名	144名	100.0%
助産学専攻科		17名	0名	17名	17名	100.0%
社会福祉学部	社会福祉学科	41名	1名	39名	39名	100.0%
	介護福祉学科	13名	0名	13名	13名	100.0%
	こども教育福祉学科	35名	0名	31名	31名	100.0%
リハビリテーション学部	理学療法学科	39名	0名	39名	39名	100.0%
	作業療法学科	34名	0名	34名	34名	100.0%
	言語聴覚学科	30名	0名	28名	27名	96.4%
大学計		365名	12名	345名	344名	99.7%

※「就職率」は、就職希望者に占める就職者の割合です。

求人情報について

大学に届いた求人情報は、就職センターホームページやメールにより学生にお知らせしています。また就職センターの資料コーナーで自由に病院・施設のパンフレットが閲覧できます。大学に届くもの以外に、病院・施設のホームページに掲載されることもあるため、学生には、就職を検討している病院・施設の情報定期的にチェックするように勧めています。

【求人情報の閲覧について】 就職センターホームページから、求人情報や就職試験報告書をご覧になることができます。ログインにはIDとパスワードが必要となりますので、ご希望の方は就職センターメールアドレスにご連絡ください。また、求人情報配信システムもご利用いただけます。就職センター syuusyoku@seirei.ac.jp

各学部の就職委員(教員)から保護者の方へのメッセージ

看護学部



就職副部長
看護学科 准教授

くろい ともこ
黒野 智子

看護学部の就職支援に対する考え方は、2年～4年次のガイダンスで学生にも伝えていますが、本人が希望するところへ就職できるように支援することです。どこに就職をするのか、保護者の方のお考えもあると思いますが、十分な話し合いをされ、最終的には本人が納得して決めたところへチャレンジすることを勧めたいと思います。

具体的な支援として、自分の希望を見極めるために、3年次の11月には、就職活動を終えた4年次生の協力を得て、どのようにして志望先を決めたかなど、就職活動や就職試験についての報告会があります。報告会の発表事例の他にも先

輩が残してくれている病院についての資料(就職試験報告書など)を閲覧することができます。2月にはさまざまな病棟で働いている卒業生40名ほどに参加していただき、懇談会を開催し、先輩方の話をお聞きする機会を作っています。3、4年次の4月には、静岡県および愛知県にある病院の看護部長、人事担当者をお招きし、説明会を本学で開催しています。また、休みを利用して、病院のインターンシップに参加することを勧めています。就職に関する病院や施設の資料はすべて学生プラザの就職センターの資料コーナーに置いてあります。求人は全国から寄せられており数も多くありますが、不足している情報を「就職ガイドブック」の資料請求の手紙やメールの書き方、留意点を参考に、病院に直接問い合わせるのも、自己アピールの一つです。

就職活動について、ご質問やご不安な点がありましたらお気軽に教員や就職センター職員にご相談ください。その際、学生自身の希望があれば、遠慮せずにしっかりと伝えていただければと思います。



社会福祉学部



就職委員
社会福祉学科 助教

むらかみ たけとし
村上 武敏

今日、社会福祉学を専攻する学生の卒業後の活躍の場は拡大しつつあり、保健医療福祉の分野をも超えて広がっています。その多方面にわたる情報を必要に応じて適切に提供すること、そして学生が自らの適性を見極めるための支援も必要になります。「卒業生による仕事報告会」や「4年次生による就職活動報告会」、学科ごとの「就職相談会」の開催などを通して、さらに、就職センター職員、就職対策委員やアドバイザー教員などの個別指導を通して、多様な進路のなかで学生が自らの将来を思い描き職業を選

択していけるように、そして志望する職業に就けるように、就職センターを中心として職員一丸となって努力しているところです。

就職は、人生の一つの大きな分岐点であることに間違いはありません。学生とご家族とともに私たちが成果が得られるよう真剣に取り組んでいます。

しかし、志望した職業に就けるものばかりではありませんし、就職は一つ分岐点ではありますが、ここで人生のすべてが決定するわけではありません。成果を得るためにはどうすべきか、それとともに結果がともなわなかったときにどうすべきか、そのことを視野に入れて就職支援を展開しています。

リハビリテーション学部



就職委員
理学療法学科 准教授

きんばら かずひろ
金原 一宏

リハビリテーション学部の就職活動は、早い学生で4年次の春から開始しますが、多くは8月から本格化します。他の職種の就職活動と比較すると、大変遅いと感じられると思います。その理由は、リハビリテーションに関する職種は、国家試験に合格しなければ病院や施設等で働くことができないからです。病院や施設は、受験した学生が国家試験に合格することを見越して採用内定とします。このことを踏まえ大学も学生と相談し、国家試験受験後の2～3月に就職活動を行うこともあります。

就職試験では、専門職に必要な知識と技術はもちろん、人物も評価されます。事前に病院・施設見学をするよう求められ、患者さんとの会話などから評価していることもあります。就職指導では、この点も大変重要な事であると捉え、見学前に指導をしています。

本学のカリキュラムは、1年次から臨床現場に出向き、見学、体験を通して、学生が自ら意欲的に取り組めるよう構成されています。自ら目標とする職種を早くから体験することは、学修理解を促し、医療に携わる社会人として接遇や態度、考え方を学び、内容の充実した学修に繋がります。長期の臨床実習は、各職種の様々な分野を学び体験することで、希望する就職施設を選ぶ参考となります。現在、就職試験の内容は、様々です。これらに対応するために、就職試験が始まるまでは、学修のほか、ボランティアやサークル活動などの体験を積み、友情を深め、多くの経験から学び、自身の成長を促すことが大切です。

CHRISTOPHER NEWS

クリストファーニュース

2016年度入学式を行いました

4月6日、アクトシティ浜松中ホールにて、聖隷クリストファー大学・大学院ならびに聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校の入學式を合同で執り行いました。今年度は、看護学部156名、リハビリテーション学部106名、社会福祉学部76名、助産学専攻科17名、看護学研究科11名、リハビリテーション科学研究科16名、社会福祉学研究科3名、介護福祉専門学校22名の計407名の新生が入學しました(編入生を含む)。

大学・大学院の新生を代表して、リハビリテーション学部理学療法学科の前田敦也さんが「保健医療福祉の総合大学である本学で広い視野と高い技術を身に付け、社会に貢献できる専門職者を目指して日々精進していきたい」と決意を述べました。また、入学式の前後に保護者ガイダンスおよび後援会総会を行い、多くの保護者の皆様にご出席いただきました。



リハビリテーション学部理学療法学科前田敦也さんによる新生代表のこたば

全学防災訓練を実施しました

近い将来発生することが懸念されている東海地方の大規模地震に備え、毎年4月に全学生・教職員対象の防災訓練を実施しています。

今年度は、80分の訓練のうち、前半は講義形式の防災オリエンテーションを行い、「地震発生時の避難方針や初期行動」、「避難器具や消火器具の使用状況」、「備蓄品の状況」、「安否情報システムANPIC」などについて確認を行いました。

後半は、震度6強の大地震が発生したとの想定のもと、避難行動や人員点呼のシミュレーションを行い、有事の際にはどの様に行動するかについて学びました。

また、本学で導入している安否情報システム「ANPIC」による安否報告訓練を行い、全学生より安否報告を受けました。全国各地で震度6弱以上の地震が発生した場合には、携帯電話・スマートフォンに自動的に安否確認メールが届くよう設定されています。



防災オリエンテーション



地震防災対策カードを配布しました。安否情報確認システム「ANPIC」へのアクセス方法のほか有事の際の避難方法などが記載されています。このカードは常時携帯するよう学生に呼びかけています。



学生防災リーダーによる人員点呼報告

全学的に教育改革を進めています

本学では教育改革の一環としていくつかの取り組みを行っています。特に、学生の皆さんが「主体的な学修(アクティブラーニング)」を進められるよう「学修時間調査の実施」、「シラバス(講義要項)の充実」、「教育カリキュラムの体系化」などに取り組んでいます。

「学修時間調査」については、調査結果を「学生の皆さんの適正な学修時間の確保のための指導」に結び付けています。

「シラバス(講義要項)の充実」については、学生の皆さんが効果的に学修を進められるよう、各科目のシラバスに事前・事後学修の内容、ポイント、進め方などを明示しています。

「教育カリキュラムの体系化」については、学生の皆さんが各科目間の関連性や順序性を確認できるように教育カリキュラムの図示化を進めています。今後は上記に加えて、e-ラーニングなどのICTを利用した教育の充実も進めていきます。

介護用ロボットスーツHAL®を導入しました

社会福祉学部介護福祉学科ならびに本学介護福祉専門学校は、2016年6月からロボットスーツHAL®介護支援用(腰タイプ)※を導入し、最新の介護福祉を学んでいます。このロボットスーツは、サイバーダイン(株)が世界で初めて生活支援ロボットの国際安全規格「ISO13482」を取得したものです。

この機器を腰部に装着することで、介助動作において腰部にかかる負荷を25～40%低減し、腰痛を引き起こすリスクを減らすことができます。すでに先進の介護福祉施設では介護ロボットの導入が始まっており、今後、飛躍的に導入が進むと予測されています。教育現場での導入は非常に先進的な取り組みです。学生のうちから機器に触れ実際に使用した経験が、卒業後、介護福祉の現場において大いに生かされることが期待されます。

※ロボットスーツHAL®介護支援用(腰タイプ)は、CYBERDYNE(株)の登録商標です。



→ 国際交流レポート

ナンヤン理工学院研修生の受け入れ『Study Visit from Nanyang Polytechnic』



NYPからの研修生(聖隷三方原病院にて)

3月12日～18日、本学の交流協定締結校であるシンガポールのナンヤン理工学院(NYP)の研修生22名(看護学科9名、理学療法学科10名、作業療法学科3名)が来学しました。研修生は学内での施設見学や講義、聖隷関連の医療福祉施設などの訪問を通して、日本の医療福祉制度について学びました。また、本学学生が主催する交流会では、同じ専門職を目指す学生同士、学生生活について話したり、一緒に日本の遊びを楽しむなどして大いに盛り上がりました。



本学での交流会

アメリカ看護研修『Study Visit to Samuel Merritt University』



SMUでの歓迎会

3月14日～24日、本学の交流協定締結校であるアメリカ・カリフォルニア州サンフランシスコ郊外のサミュエルメリット大学(SMU)にて看護研修を実施しました。昨年に続いて2度目の実施となり、看護学部2年次生10名が参加し、同大学にある最先端のシミュレーションセンターでの演習のほか、地域病院などの見学を通して看護先進国であるアメリカの看護や福祉事情について学びました。週末にはホームステイを体験し、学生達はアメリカの文化を身近に感じる事ができました。



SMUの学生との観光

アメリカ言語聴覚学研修『Study Visit to University of Hawaii at Manoa』



ハワイ大学での歓迎会

2月28日～3月7日、アメリカ言語聴覚学研修をハワイ大学マノア校Department of Communication Sciences and Disordersで実施しました。2度目の実施となる今回は、言語聴覚学科1年次生12名が参加しました。本研修は、施設訪問や臨床見学のほかに大学院の講義を聴講できることが大きな特徴です。難易度の高い内容にもかかわらず、学生達は14回の事前研修を通じて得た知識を基に積極的に質問をし、その様子を見た現地の先生方も本学学生の学ぶ姿勢に驚かされていました。また、観光やアクティビティも体験し、ハワイでの滞在を満喫しました。



ワイキキビーチにて

聖隷クリストファー中・高等学校

「届けよう、服のチカラ」プロジェクトに参加しました

中学校6期生60名は、ユニクロが提唱している「届けよう、服のチカラ」プロジェクトに参加しました。この活動は、着なくなった子ども服を回収し、難民の方々など本当に必要としている人のもとへ届けるというものです。「たくさんの人を、笑顔に」を合言葉に、この服を受け取ってもらった時に、笑顔になってくれることを想像しながら活動しました。最初に、ユニクロの社員の方を講師に招いて、勉強会を行いました。その後、生徒全員が、ポスターを作り、各教室に掲示をし、

2015年9月28日～10月30日の期間中は、毎日担当教室に協力・回収のお願いに行きました。その結果、1390着の服を集めることができました。この活動を通して、国際問題や環境問題に関心を持って、「自分にもできる社会貢献がある」と気づくことができました。



段ボールに詰めた沢山の洋服と一緒に記念撮影

アメリカから2人目の留学生をお迎えしました



昨年9月から本校に通学しているマディさんに加え、今年度当初から新たにアメリカコロラド州より、シアナ・ヴィルティカパさんをお迎えしました。

シアナさんはスポーツ、料理、読書、マーチングバンドなど多くの趣味を持つ、活動的な16歳です。アメリカでは、ありとあらゆるクラブ活動に参加し、忙しい毎日を送っていたようです。日本語学習歴は1年と短いものの、豊かな文化と歴史を持つ日本での生活をとても楽しみに来

日しました。シアナさんが日本で楽しみにしているものの一つとして挙げていたのが、桜の花。彼女が来日した3月26日ごろ、浜松でもちょうど桜の開花となりました。満開の桜の花に歓迎されての彼女の日本での留学生活。きっと華やいだ充実したものとなることでしょう。

シアナさんは高校1年英数科のクラスに加わり、来年1月まで本校に通学します。

法人事務局より

ジョン・カミツカ氏



ジョン・カミツカ氏のピアノコンサ

2016年5月25・26日に本学に隣接する遠州栄光教会三方原礼拝堂でジョン・カミツカ氏のピアノコンサートが行われました。本学園長谷川了理事長の招待により、25日は大学授業「音楽」を受講している学生などが参加しました。26日はクリストファーこども園園児とクリストファー中学校の生徒、介護福祉専門学校が参加。世界で活躍するピアニストの迫力ある演奏を間近で鑑賞し、「本物」の音楽に触れる貴重な経験となりました。さらに5月27日には本学社会福祉学部



遠州栄光教会三方原礼拝堂でのコンサートの様子

聖隷クリストファー大学附属 クリストファーこども園

聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園 総園長
聖隷クリストファー大学 社会福祉学部こども教育福祉学科長・教授 おおた まさこ 太田 雅子

入園式を行いました

4月16日に6回目となる入園式を行いました。0歳児6名、2歳児1名、3歳児49名、4歳児1名、計57名の新入園児を



入園式の様子

お迎えました。多少の不安さを覗かせながらも、新しい場所で、「何かおもしろいことを見つけてやろう!」といった、期待に満ちた表情が、真新しい制服を着た子どもたちには見られました。聖隷のシンボルマークの色についての理事長の話を、舞台の幕や制服のエンブレムに付いているマークに目をやりながらよく聞いていました。式後の「おたのしみ」では、特大絵巻物『ぐるんぱのようちえん』が演じられました。この絵巻物は画才に長け

ている保護者ボランティアの皆様の協力によって制作されました。子どもたちは場面が動くことや絵の美しさに関心を示し、お話にじっくりと聞き入っていました。その後は、各保育室に移動し、一人一人が名前を呼んでもらい、お祝いのカードとミニ花束を受け取りました。



特大絵巻物を見ている様子

こども教育福祉学科4年次生がプレ実習を行いました

こども教育福祉学科4年次生が5月からの本格的な実習を前に、4月12日からこども園でプレ実習を行いました。学生であっても、チーム保育を担う一員としての自覚と責任が求められています。個々の子どもに目を配ると同時に、他の保育者の動きを見て、今、自分のできることは何か、どの位置に動けばよいのかを考えながら行動する姿が見られました。また、実習終了後には、一日を振り返り、記

録を書いて、子どもの言動や保育者の働きかけの意味を探り、考察する作業を行いました。さらに、振り返りをもとに、翌日の保育に向けての手立てを考えるというトレーニングを重ねました。現場の先生方から様々な指摘や指導を受け、保育専門職を目指す者としての実践力を身につける機会となりました。



こども園園庭でのプレ実習の様子

ート・特別ピアノレッスンが行われました

こども教育福祉学科の学生3名のピアノ演奏に対して、カミツカ氏が手とり足とり助言指導をし、他の学生たちもその指導内容を共有しました。

カミツカ氏は1955年、ニュージャージー州プリンストン生まれの日系三世アメリカ人のピアニストです。ニューヨークを本拠にし、リンカーン・センター、カーネギー・ホール、国連ダグ・ハマースホルド・シアターなど、アメリカ各地でリサイタルを開くほか、フランス・ドイツの音楽祭にも招かれることが多いとのこと。

故ダイアナ妃が主宰したチャリティ・コンサートにも出演され、日本でも定期的のリサイタルを行っています。父親はプロテスタント教会の牧師であり、宣教師として札幌に在住され、聖隷学園の創設者・長谷川保氏の北海道伝道旅行、アメリカ伝道修行の企画・推進役を務められました。

来年も本学園で演奏していただけることを楽しみにしています。



カミツカ氏による特別ピアノレッスンの様子(大学にて)

「生きる」を前向きに意思決定する 患者・家族を支えるために

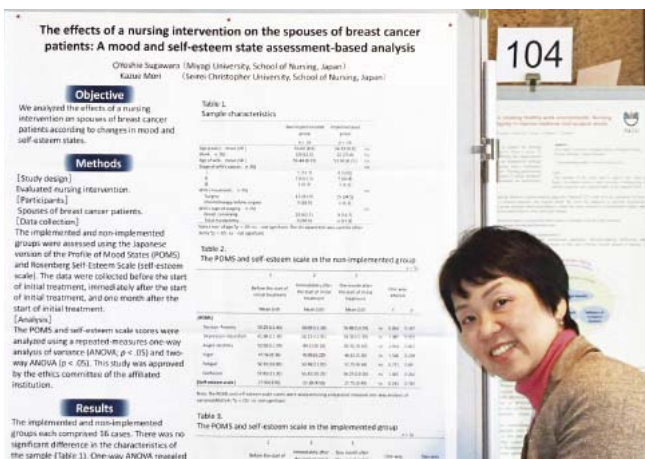
看護学部 教授 もり かずえ
森 一恵

- 最終学歴：大阪府立看護大学大学院博士後期課程(看護学博士/がん看護専攻)
- 主な所属学会：日本がん看護学会、日本看護科学学会、日本看護倫理学会、日本造血細胞移植学会、日本クリティカルケア看護学会、日本在宅ケア学会など



Q1 先生の学びのきっかけと 専門分野について教えてください。

看護師として血液内科の病棟に勤務していた時に出会った患者さんの中には、治療を受けるか、治療を続けるかどうか、これから人生をどうしたいのかなどを悩み、戸惑っている方がいました。そこで、生死について先人に学ぼうと哲学を専攻し修士課程に入学しました。修士課程で学んだことは、臨床現場で出会う患者・家族の皆さん一人一人を理解できることの助けになりました。これをふまえ、造血幹細胞移植を受ける患者さんが一番困っていることをお伺いしたところ、命がけの辛い治療よりも、治療をするかどうかの意思決定が一番辛かった、と教えられたことが、博士後期課程の学びの動機となりました。専門はがん看護などの高度医療の看護(がん看護、クリティカルケア看護)と看護倫理です。看護学は机上の学問ではなく、実践的でアクティブでクリエイティブな学問です。自らを通して学問を体現化し、それを対象者と共有できるところが魅力的だと考えています。



2015年10月、ドイツ・ハノーファーで行われた第4回世界看護科学学会での研究発表の様子

Q2 大学院では どのような学びができますか？

看護学研究科の博士前期課程には、看護学を探究し研究者の端緒となる学修を身につける修士論文コースと、高度医療を看護として支援するための高度実践看護師養成コース(CNSコースを含む)があります。臨床現場や地域・在宅ケアにおいて日々進歩する社会の要請に看護学として応えるための客観的な視点、対象者へのアプローチ、コメディカル・研究者としての倫理観を学修します。

博士後期課程では、看護学を自立して探究し、自分の疑問に真摯に向かい合っってクリエイティブに研究を進めていきます。広く本学の教授陣からの支援を受けながら研究を進める中で、研究者としての在り方や看護観を考え学修し、学位論文を作成します。

Q3 現在取り組まれている研究や 活動について教えてください。

研究を進める動機となったのは、7年ほど前に臨床現場の看護師から「臨床では高齢がん患者が治療かホスピスかしか残されていない現状に不安を感じる」という意見を伺ったことが始まりです。もともと「意思決定」が研究のテーマだったので、がんの終末期の現状の調査、臨床現場で高齢がん患者の意思決定がどういったプロセスで行われているのか、高齢がん患者が治療期の病院からどこに移っていくのか、高齢者施設でのがん患者の終末期における課題は何かなど科学研究費の支援を受けて進めてきました。2016年度に採択された科学研究費助成事業で、高齢がん患者の意思決定を支えるための介入研究を行いたいと考えています。また、臨床の看護師の皆さんと共同して救命救急における意思決定の課題や現状を調査し、救命救急での意思決定支援について考えていく予定です。臨床現場に還元できる研究を続けていきたいと思っています。

新任教員の 紹介

- ①出身校 ②前任校・前勤務先
③専門分野 ④メッセージ



社会福祉学部(介護福祉学科)

あきやま えみこ
秋山 恵美子 助教

①早稲田大学大学院スポーツ科学研究科修士課程②NHK学園高等学校専攻科専任教員、大学非常勤講師③介護福祉学④長谷川保先生のご講義から32年、聖隷に着任でき大きな幸せでいっぱいです!介護福祉は日本の未来を創造し、道を切り開きます。共に学んで参りましょう!



社会福祉学部(介護福祉学科)

いかわ あつし
井川 淳史 助教

①日本福祉大学大学院社会福祉学研究科修士課程②名古屋経営短期大学健康福祉学科③障害福祉学④介護福祉の仕事がいかによばらしく、やりがいを感じられるか、ぜひ皆さんに伝えていきたいです!



リハビリテーション学部(言語聴覚学科・教養基礎(英語))

マックリーン リチャード
MacLean Richard 教授

①Seattle University, Washington, USA. (教育学博士)②非営利団体グローバル・エデュケーション・サービス代表③教育学④Education helps us to understand ourselves and understand what we have to give to others.



リハビリテーション学部(作業療法学科)

いずみ りょうた
泉 良太 准教授

①新潟医療福祉大学大学院医療福祉学専攻博士後期課程②新潟医療福祉大学医療技術学部③身体障害作業療法学、QOL評価④専門的な知識や技術を得ることはもちろんのこと、対象者の気持ちを理解し、寄り添うことのできる社会人になれるように支援していきたいと思っています。



リハビリテーション学部(理学療法学科)

やべ ひろき
矢部 広樹 助教

①聖隷クリストファー大学大学院リハビリテーション科学研究科博士後期課程②医療法人偕行会名古屋共立病院③内部障害系理学療法学④本学リハビリ学部の1期生です。本学の伝統を継承しつつ、理学療法の素晴らしさを学生の皆さんへ伝えることで、聖隷の更なる発展に尽力したいと思います。



聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校

うえだ ゆうたろう
植田 裕太郎 教授

①国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科修士課程②社会福祉法人スイートホーム特別養護老人ホームひまわり③高齢者介護④学生の皆さんに最先端の介護福祉実践での現場経験を生かし、介護の魅力、楽しさを伝えていきたいです。多くの仲間と共に学んでいきましょう。



看護学部(老年看護学)

おおむら みつよ
大村 光代 教授

①聖隷クリストファー大学大学院看護学研究科博士後期課程②人間環境大学看護学部③老年看護学④日本の高齢社会について様々な角度から知識を深め、看護の視点から高齢者に対する包括的なケアのあり方を皆さんとともに考えていきたいと思っています。



看護学部(精神看護学)

しきもり はるこ
式守 晴子 教授

①東京大学医学系研究科第一種博士課程保健学専門課程②静岡県立大学看護学部③精神看護学④精神看護学は精神の病を持つ方も含めたすべての人々の精神的健康を支援する分野です。精神の課題は目に見えないからこそ奥深いため、それを皆さんにお伝えしたいと思います。



看護学部(教養・専門基礎)

くまざわ たけし
熊澤 武志 教授

①東邦大学大学院理学研究科修士課程②昭和大学医学部③生理学・神経科学④これまでの教育・研究の経験を、本学学生の皆さんのお役に立てたいと思っています。丁寧な授業を心がけますので、よろしく願います。



社会福祉学部(こども教育福祉学科)

すずき みつお
鈴木 光男 教授

①金沢大学教育学部初等教育科、兵庫教育大学大学院学校教育研究科修士課程②東京未来大学こども心理学部③学校教育学・美術教育④アートを活かした保育・教育はもちろん、看護や介護においてもその可能性を学生の皆さんと共に追求し、実践現場で培った経験をふまえていきたいと思っています。



社会福祉学部(介護福祉学科・教養基礎(英語))

パターソン ドナルド
Patterson Donald 准教授

①Master of Arts in Japanese language & society, University of Sheffield, UK. ②山梨学院大学国際リベラルアーツ学部③外国語教育④I'm looking forward to helping students achieve their language goals!

聖隷クリストファー大学・聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校後援会 2015年度決算・2016年度予算について

4月6日に2016年度後援会総会を開催し、下記のとおり2015年度決算および2016年度予算が承認されました。2016年度は、次の3点について重点的に予算を編成しました。1) 学生食堂の座席数の増加を図り、混雑の緩和を目指します。2) 学生用新規駐車場(2016年秋開設予定)に防犯カメラを設置します。3) キャンパス周辺の防犯灯の設置を継続して実施します。また介護福祉専門学校の開校に伴い、専門学校生と大学生が同じキャンパス内の学修環境を共用することになります。これを踏まえ、会員相互の協力によって教育の振興をはかるという後援会の目的に照らし、専門学校生の父母を後援会会員に加え、大学と専門学校が一体となった後援会組織に改編することが後援会総会において承認されました。

科目	項目	2015年度決算	2016年度予算
(単位:円)			
収入の部			
入会金・会費	入会金	3,552,500	3,537,500
	会費	28,039,460	28,340,000
	特別会員会費		7,420,000
利息	預金利息	5,442	20,000
前年度繰越金		5,723,501	5,976,017
収入の部合計		37,320,903	45,293,517
(単位:円)			
支出の部			
教育活動 振興援助費	新入生セミナー援助	1,248,061	1,367,700
	実習交通費宿泊費等の補助(看護学部)	799,944	800,000
	実習宿泊費補助(リハビリテーション学部)	1,600,000	1,600,000
	研修補助(介護福祉専門学校)		75,000
	学外学会等参加費補助(助産学専攻科)	0	80,000
	国家試験対策講座等に係る費用の補助	4,054,821	4,230,000
福利厚生費	学生相談室の運営に係る費用の補助	3,928,069	4,400,000
	健康診断に係る費用の補助	3,981,881	4,500,000
	健康管理センターの充実補助	169,226	200,000
	学生の自主活動に係る費用の補助	1,737,500	2,160,000
	学生食堂運営費、売店運営費の補助	6,140,191	4,400,000
	防犯・交通安全の啓発に係る費用の補助	175,698	170,000
	スクールバス運行補助		1,500,000
	スクールバス運行補助(特別会員会費)		7,420,000
	卒業記念品贈呈および卒業パーティ開催費	3,062,479	3,100,000
	学生用コピー機、印刷機費用の補助	1,204,833	1,300,000
会員情報 提供費	防災用備蓄品の購入補助	263,088	300,000
	広報誌報印刷費、発送費	1,418,895	1,500,000
	保護者懇談会の開催	689,831	770,000
施設設備費	学生福利厚生設備の充実費用	237,168	1,500,000
	学生駐車場防犯カメラリース料、キャンパス周辺の防犯灯維持費	223,795	250,000
	キャンパス内整備(学生ホール等)、備品の購入経費	2,149	800,000
総務費	慶弔費	0	50,000
	保護者満足度調査経費(郵送費)	317,439	350,000
	会費納付書等印刷費、郵送費	53,098	60,000
	役員会	36,720	50,000
予備費		0	2,360,817
次年度繰越金		5,976,017	0
支出の部合計		37,320,903	45,293,517

2016年度 後援会役員

会 長 柏原栄作
 副 会 長 鈿持 尚、高松克式、
 渡辺泰宏(大学学生部長)
 理 事 増井悦子、小尾 誠、石井尚志、
 小出紀久一、青木 慶、
 鈴木道徳、池田しげみ、宮崎純夫、
 古川英治、鈴木浩人
 幹 事 中村憲司(総務部長)、
 川野淳弘(学生サービスセンター長)
 会計監査 芦澤信之、藪谷 淳

2015年度の重点課題について【報告】

2015年度は特に、下記3点を重点課題に挙げ対応しました。

①第3駐車場(学生用)までの経路の防犯対策を実施します。

→大学から第3駐車場までの経路へ周辺自治会と協力して、防犯灯4本を設置しました。

②学生食堂における券売機のバリアフリー化を図ります。

→老朽化していた学生食堂の券売機3台を入れ替え、内1台にユニバーサルデザインの券売機を採用しました。

③キャンパス周辺の防犯灯の設置を継続して実施します。

→第3駐車場までの経路以外への外灯追加設置に向けて、自治会に働きかけてきました。残念ながら、2015年度は追加設置ができませんでしたが、今後できる限り働きかけを継続していきます。

後援会会長 就任挨拶 柏原 栄作

日頃より会員の皆様には、後援会活動にご理解・ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

後援会の活動は、学生の教育活動の振興援助に関する事業、学生の福利厚生に関する事業、会員の皆様への情報提供に関する事業、学生用の施設設備の充実に関する事業などを行っております。今後とも後援会は、学生一人一人の成長を願い、学業の充実と健康で安心した学生生活を送ることができるよう支援してまいります。

最後になりましたが、会員皆様のご健勝とご多幸、聖隷クリストファー大学および聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校の今後益々の発展を祈念し、会長の挨拶とさせていただきます。

保護者の皆様へお知らせ

「2015年度保護者満足度調査結果報告書」を本誌に同封してお送りいたしました

2015年度保護者満足度調査にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。お寄せいただきました多くのご質問・ご要望に対し、個々に回答できませんが、本学からの回答を掲載しております。ぜひ一読いただけますようお願いいたします。また、在学生を対象に実施した「在学生満足度調査」につきましても、在学生より寄せられた多くの意見等に対し分析、改善策を検討いたしました。在学生向けましては6月より学内において回答を掲示しております。今後もよりよい教育を目指して取り組んでまいりますので引き続き、ご支援ご協力くださいますようお願い申し上げます。

2016年度保護者懇談会開催のお知らせ

2016年度保護者懇談会を右記の日程で開催いたします。保護者懇談会は、保護者の皆様にはキャンパスにお越しいただき、教育環境の現状などについてお話を聞いていただくほか、お子さんの学業や学生生活、就職、健康面等について教職員と直接お話いただけるプログラムとなっています。詳細が決定次第、ご案内状をお送りいたしますのでこの機会にぜひご来学いただければ幸いです。

	日程
介護福祉専門学校	5/21(土)
社会福祉学部	7/ 9(土)
リハビリテーション学部	10/ 8(土)
看護学部	10/22(土)



学友会会長 おかむら ゆうか 岡村 優香(リハビリテーション学部2年次生)

今年度の学友会会長に就任しました岡村優香です。学友会では、学生の皆さんが充実した学生生活を送れるよう季節ごとに新入生歓迎会、球技大会、クリスマス祝会などを企画・運営しています。今年度は、学友会役員の数人が少ないので学友会の宣伝・勧誘にも力を入れていきたいと思ひます。

私たち学友会が主体となって聖隷クリストファー大学および介護福祉専門学校をより良くしていきたいので、これからも皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。今年度も学友会一同一丸となって頑張っていきますので、応援よろしくお願ひいたします。

2016年度 学友会関連行事

- 4月 5日(火) 新入生歓迎会
- 6月 1日(水) 定例総会
- 9月20日(火) 9月卒業式(記念品)
- 10月15日(土) 球技大会
- 11月 5日(土) 聖灯祭
- 12月21日(水) クリスマス祝会
- 3月 8日(水) 卒業式(記念品)
卒業パーティ
(大学・学友会・後援会・同窓会共同開催)

2016年度 学友会役員(任期2017年3月31日まで)

役職	氏名	所属	役職	氏名	所属
会長	岡村 優香	リハ2	サークル長	藤田 翔馬	社福2
副会長	高杉 透子	リハ2	広報	佐竹 実花	看護2
会計長	鈴木 沙阿	看護2	監査	林 優希	リハ2
会計	加藤 茜	看護2			

※所属の欄の「2」は学年、「看護」は看護学部、「社福」は社会福祉学部、「リハ」はリハビリテーション学部

学生数

総数1,511名/男364名/女1,147名

2016年5月1日現在 ※()内は男子内数

看護学部	看護学科	1年次生	156(16)
		2年次生	160(22)
		3年次生	153(16)
		4年次生	160(15)
	計	629(69)	
助産学専攻科		計	17(0)
社会福祉学部	社会福祉学科	1年次生	36(11)
		2年次生	31(11)
		3年次生	40(14)
		4年次生	38(19)
	介護福祉学科	1年次生	4(1)
		2年次生	12(3)
		3年次生	17(11)
		4年次生	14(3)
	こども教育福祉学科	1年次生	35(6)
		2年次生	39(4)
		3年次生	47(1)
		4年次生	47(11)
計	360(95)		
リハビリテーション学部	理学療法学科	1年次生	45(31)
		2年次生	39(18)
		3年次生	42(20)
		4年次生	33(15)
	作業療法学科	1年次生	34(17)
		2年次生	35(10)
		3年次生	37(16)
		4年次生	34(10)
	言語聴覚学科	1年次生	27(6)
		2年次生	34(7)
		3年次生	19(5)
		4年次生	24(5)
計	403(160)		
看護学研究科	博士前期課程	1年次生	5(0)
		2年次生	5(1)
	博士後期課程	1年次生	6(0)
		2年次生	4(0)
		3年次生	15(0)
計	35(1)		
社会福祉学研究科	博士前期課程	1年次生	1(1)
		2年次生	6(4)
	博士後期課程	1年次生	2(0)
		2年次生	2(2)
		3年次生	3(1)
計	14(8)		
リハビリテーション科学研究科	博士前期課程	1年次生	10(8)
		2年次生	11(7)
	博士後期課程	1年次生	6(3)
		2年次生	2(2)
		3年次生	2(2)
計	31(22)		
介護福祉専門学校		1年次生	22(9)
		計	22(9)

2016年度 新たに就任した役職者

看護学部	学部長 藤本 栄子 教授
社会福祉学部	介護福祉学科長 古川 和稔 教授
リハビリテーション学部	理学療法学科長 矢倉 千昭 教授
	言語聴覚学科長 柴本 勇 教授

大学院看護学研究科	研究科長 市江 和子 教授
大学院社会福祉学研究科	研究科長 大友 信勝 教授
教務部長	鈴木 知代 看護学部 教授
図書館長	荒川 靖子 看護学部 教授
介護福祉専門学校	校長 横尾 恵美子 教授(社会福祉学部長兼任)

主に一般の方向けの講座を「市民公開講座」、主に専門職者向けの講座を「公開セミナー」として開催しています。詳細は大学ホームページに順次掲載いたします。インターネットから、またはFAXでお申し込みください。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

【市民公開講座】

認知症に関する講座

テーマ ありのままの認知症を楽しく学ぶ、最新の介護を学ぶ
日時 2016年7月23日(土) 13:00～16:00
講師 本学社会福祉学部 教授 古川 和稔
 関口 祐加 氏(映画監督)※上映会を含む講演
対象 一般市民の方
 (介護従事者、近隣施設利用者ほかどなたでも)
定員 100名
場所 聖隷クリストファー大学

障がい児に関する講座

テーマ 障がいのある子どもの育ちの実際(仮)
日時 2016年11月19日(土) 13:30～15:30
講師 水戸川 真由美 氏(日本ダウン症協会理事)
対象 一般市民の方
 (障がいのあるお子さんの保護者の方ほかどなたでも)
定員 100名
場所 聖隷クリストファー大学

【公開セミナー】

モチベーションアップに関する講座

テーマ 働くモチベーションを生み出すチームづくり
日時 2016年6月25日(土) 13:30～15:30
講師 本学看護学部 助教 高橋 佐和子、助教 伊藤 純子
対象 保健医療福祉の専門職の方および
 一般市民の方
定員 60名
場所 聖隷クリストファー大学

障がい者の就労支援に関する講座

テーマ 障がい者の就労継続支援
日時 2016年10月29日(土) 13:00～15:00
講師 障害者就業・生活支援センター だんだん センター長
 加藤 陽一 氏、オールしずおかベストコミュニティ
 障害者雇用推進コーディネーター 小倉 将数 氏ほか
対象 主に保健医療福祉の専門職の方
定員 50名
場所 浜松市地域情報センター

参加申込み ※申込み開始は講座開催日の約2ヵ月前からです。

●インターネットからの申込み

保健福祉実践開発研究センターホームページ → 公開セミナー・市民公開講座
<http://blg.seirei.ac.jp/healthscience/>
 ※画面の案内に従って必要情報を入力後、送信してください。

●FAXからの申込み

FAX 053-439-1406
 氏名(フリガナ)・住所・電話番号・FAX番号・
 職業(勤務先)・申込講座名をお知らせください。

キャンパススケジュール

Campus Schedule

4月
 4(月) 新生オリエンテーション・
 在学生ガイダンス(5日まで)・防災訓練
 6(水) 入学式・保護者ガイダンス
 7(木) 春semester授業開始
 21(木) 新生セミナー

5月
 1(日) 創立記念日
 2(月) 海の日振替休日
 21(土) **介護福祉専門学校 保護者懇談会**

7月
 9(土) **社会福祉学部 保護者懇談会**
 18(月) 授業日(海の日)
 28(木) 春semester授業終了
 29(金) 春semester定期試験(8月4日まで)

8月 29(月) 春semester追・再試験(31日まで)

9月
 20(火) 春semester卒業式・修了式
 23(金) 秋semesterガイダンス
 26(月) 秋semester授業開始

10月
 8(土) **リハビリテーション学部 保護者懇談会**
 22(土) **看護学部 保護者懇談会**

11月
 4(金) 1～3限は授業、4限以後聖灯祭等準備
 5(土) 聖灯祭・ホームカミングデー
 23(水) 授業日(勤労感謝の日)

12月
 21(水) クリスマス礼拝
 23(金) 授業日(天皇誕生日)
 27(火) 冬期休業(1月4日まで)

1月
 23(月) 秋semester授業終了
 24(火) 秋semester定期試験(30日まで)

2月 24(金) 秋semester追・再試験(28日まで)

3月 8(水) 卒業式・修了式、卒業パーティ

学報へのご意見・ご感想をお寄せください

読者の皆様のご意見を参考に、より充実した内容をお届けできればと考えております。ご協力お願い申し上げます。

学報アンケート

→ <http://blg.seirei.ac.jp/d/>
 携帯電話からもアクセスできます

